

### B マキエハギ



日当たりのよい乾いた道ばたや岩地などに生えます。高さ40～60cmになります。8～9月に白い花を数個つけ、豆のような果実をつけます。

### B ヒナノカンザシ



日当たりのよい湿地やため池の畔に生えます。高さ6～25cmの小さな草です。8～10月にうす紫色の1～2mmの小さな花をまばらにつけます。

### B カラスノゴマ



畑や道ばたに生えます。高さ30～60cmになります。葉は卵型で、先は少しとがります。夏に葉のつけねに黄色い花をつけ、秋には細長い果実となります。

### B ゴキヅル



水辺に生えるつる植物です。花は夏から秋に雄花と雌花が別につきます。丸い果実は熟すとふたが取れるように割れ、中には2個の黒い種が入っています。

### B ヒメミソハギ



水田や湿地に生えます。柔らかい葉は対になって生え、9～11月にうす紫色の小さな花を葉のつけねにつけます。果実は丸く、黒色に熟します。

### B ミズユキノシタ



沼や水路などの水の中や湿地に生えます。茎は枝分かれし地面をはいます。6～10月に葉のつけねにうす黄緑色の小さくて目立たない花をつけます。

### B タチモ



池、水田などの浅いところや水際に生える水草で、水の量にあわせて形を変えます。6～9月に葉のつけねに小さな花をつけます。

### B ハマボウフウ



海岸の砂地に生えます。高さ5～30cmで、葉は厚くて光沢があり、食べることができません。5～7月に茎の先に白い小さな花が集まってつきます。

### B リンドウ



山や野に生える高さ20～100cmの草です。細長い葉には3本のすじが目立ちます。秋に紫色の4cmくらいの花を数個つけます。

### B ホソバリンドウ



湿地や湿った場所に生え、草丈は30～100cmほどになります。秋に紫色の花をつけます。湿地に生えるリンドウの種類でリンドウに比べて葉が細いです。

### B クマツツラ



野の道ばたに生えます。高さ30～80cmで、茎は直立し四角く、6～9月に4mmほどのピンク色の小さな花がたてにならんでたくさんつきます。

### B ハマゴウ



海岸の砂浜に集まって生えます。高さ30～70cmで、茎は砂の上をはい、枝は立ち上がります。7～9月に枝先にうす青紫色の花をたくさんつけます。

## 明石市レッドリストの生きもの

### 哺乳類

A: 2種  
B: 3種

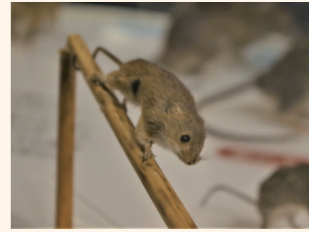
### A コウベモグラ



草原や農耕地、森林にすんでいます。土の中にトンネルを掘って、ミミズや虫を食べます。掘った土が地面に盛り上がったものを「モグラ塚」といいます。



### A カヤネズミ



日本で一番小さいネズミで、ため池の周りなどの背の高い草地にすんでいます。ススキやチガヤなどの草の葉を編んで丸い巣をつくり、その中で子育てをします。



### B タヌキ



山の森から人里近くの雑木林、公園の林などにもすんでいます。果物やドングリ、虫、ミミズ、カエル、サワガニなど、いろいろなものを食べます。

### B キツネ



里山の森林に暮らし、草原や農耕地にも姿を見せます。ネズミや小鳥、虫などの動物のほか、果実も食べます。土の中に巣穴を掘って子育てをします。

### B ニホンアナグマ



森林やササやぶに暮らし、長いトンネルを掘って生活します。夜にミミズや虫、カエル、果物やドングリを探して歩きます。冬は巣穴で冬ごもりをします。

### 鳥類

A: 11種  
B: 21種  
要調査: 17種

生きものの説明の見方はこちら

### A ヒクイナ



水田や湿地、池、河川にすんでいます。歩きながら虫やカエル、エビなどを探し、草の種も食べます。夕方から夜に、「キョッキョッキョッキョ…」と鳴きます。

### A トモエガモ



冬を日本で過ごす渡り鳥で、池や河川で見られます。オスの顔は、うす黄色と緑、黒の三色の巴（ともえ）模様。メスは全体に茶色っぽい色をしています。

### A 生きものの名前

カテゴリー:  
A、B、要(要調査)、  
今(今見られない)

見られる環境:  
p1参照

<写真・イラスト>

<見られる時期や行動、特徴など>

### A ヨシゴイ



夏を日本で過ごす渡り鳥。ヨシ原、湿地、水田などで子育てをします。草の中にいることが多い鳥です。じっと動かず待ちぶせして、魚やカエルを捕まえます。

### A クロツラヘラサギ



冬または渡りの時期に見られるトキの仲間。黒い顔とヘラのようなくちばしの特徴です。海岸や池、水田などの浅い水の中で、エサをとったり休んだりします。

### A シロチドリ



海岸や海に近い川にすんでいます。砂浜をチョコチョコと走っては小さな虫などを捕まえます。明石市の海岸では卵を産み、ヒナを育てる様子が見られます。

### A タマシギ



オスが子育てをする鳥で、メスのほうが目立つ色をしています。水田や湿地でくらし、姿はあまり見られませんが、初夏の夜、メスは「コウコウ」と鳴きます。

### A コアジサシ



夏を日本で過ごす渡り鳥で、海や池の上を低く飛んで魚を捕まえます。海岸や河原、時には工事現場などの砂や石の多い広い場所に集まって、子育てをします。

### B ハンゲショウ



水辺や湿地に生える高さ50～80cmの草です。6～8月の花の時期に、花の下の葉の一部が白色に変わります。花は小さく目立たない白い花です。冬には葉は枯れます。

### B ウマノスズクサ



林の縁や土手などの草地に生えるつる植物です。夏に花びらのない花をつけます。この花が馬につける鈴の形に似ていることからこの名前がつけました。

### B イシモチソウ



湿地に生える高さ20cmほどの食虫植物です。葉の毛から出す粘液で虫を捕まえます。5～6月に1.5cmくらいの白い花をつけます。

### A ミサゴ



海や大きな川、池の近くでくらすタカの仲間です。大きな体で水の中へ豪快に突っ込んで魚をとります。長い翼に白いお腹、目を横切る黒い線が特徴です。

### A オオタカ



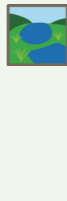
山地の森林から人里近くの林にくらす、カラスと同じくらいの大きさのタカの仲間です。林や草地で、鳥やウサギなどの動物を捕まえて食べます。

### A アオバズク



夏を日本で過ごし、里山やお寺などの森で子育てをするフクロウの仲間です。夜に活動し、昼間は休んでいることが多いです。「ホツ、ホツ」と鳴きます。

### B トウカイコモウセンゴケ



日当たりのよい湿地に生える食虫植物です。葉の毛から出す粘液で虫を捕まえます。冬でも赤い葉をつけています。6～9月にはうす紅色の花を数個つけます。

### B キケマン



日当たりのよい道ばたなどに生えます。高さは40～60cm。4～5月に長さ15～20mmの黄色い花をたくさんつけ、細長い果実ができます。

### B コイヌガラシ



水田や湿地などに生えます。高さ10～40cmで、春または秋に葉のつけねに黄色い花をつけます。果実は棒のような形で、葉のわきに1つずつつきます。

### A カワセミ



川や池のそばでくらす小鳥です。背中が明るい青色、お腹はオレンジ色をしていて、その姿は「青い宝石」ともいわれます。水に飛びこんで魚を捕まえます。

### B クイナ



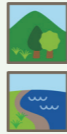
背の高い草の生えた水辺にくらし、姿を見ることの少ない鳥です。大きな足で水辺を歩き回って、虫などの小さな動物や草の種などを食べます。

### B コクガン



海にくらすガンの仲間です。海岸の近くで海藻を食べます。冬に日本にやってくるが、北海道や東北地方に多く、兵庫県で見つかることは珍しい鳥です。

### B メノマンネングサ



海岸から山地の尾根や岩の上、石垣などに生えます。高さ10～15cmで、厚みのある葉をしています。5～6月に黄色い星形の花を茎の先につけます。

### B タイトゴメ



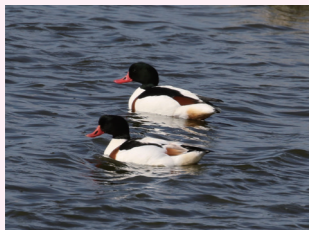
海岸の岩の上に生えます。茎は長くはって枝分かれし広がります。葉は厚みがあり緑色です。5～7月に茎の先に星形の黄色い花を3～10個つけます。

### B マルバマンネングサ



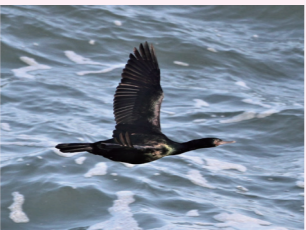
岩や石垣の上に生えます。茎は地面をはい、その途中から根を出します。6～7月に、高さ8～20cmの茎の先に星形の黄色い花をつけます。

### B ツクシガモ



冬を日本で過ごす渡り鳥で、海辺に多いカモの仲間ですが、明石市ではため池で見られます。白い体に黒い頭、ピンク色のくちばしが特徴です。

### B ヒメウ



海にすむウの仲間で、青や緑に光る黒い体をしています。よく見られるカワウやウミウより小さく、顔が黒いのが特徴です。水に潜って魚などを食べます。

### B チュウサギ



夏を日本で過ごす渡り鳥で、水田や畑でカエルや虫などを食べます。同じ仲間のダイサギやコサギと比べると、水辺よりも農耕地や草地にいることが多いです。

### B タコノアシ



河川敷に生えます。高さ30～70cmで、8～10月に白い花をつけます。秋の終わりごろ、果実や草全体が赤く色づき、タコの足を思わせます。

### B タヌキマメ



日当たりのよい草地や道ばたに生えます。茎や葉などに茶色の毛がたくさん生えています。7～9月に枝先に青紫色の1cmほどの花をつけます。

### B ハマエンドウ



海岸の砂地に生えます。葉の先は巻きひげになり、茎は地をはって長さ1mほどになります。4～7月に赤紫色、のちに青紫色になる花を数個つけます。